

## 第97回 日本整形外科学会学術総会 講演一覧

### 会長講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時	
未来を創る ―人生100年時代の整形外科―	松本守雄	S2	1	23日	13:50-14:30

### 基調講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
生涯現役社会に向けて ―整形外科の役割―	清家 篤	S645	1	25日	10:30-11:30	N	14-5	109	

### 記念講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
スポーツによる社会開発 ―オリパラの成果と課題, レガシーを東京からパリへ―	橋本聖子	S647	1	25日	13:25-14:25	N	14-5	127	

### 特別講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
1 新技術から展開する新たな整形外科診療 ―超 高齢社会の運動器疾患にいかに対応すべきか―	山崎正志	S2	1	23日	10:30-11:30	N	14-5	14	
2 新興再興感染症と病院内の感染対策	忽那賢志	S3			14:40-15:40	N	14-2	32	
3 健康の未来とデジタル技術の貢献	村井 純	S644		25日	9:15-10:15	N	14-5	102	
4 整形外科とSDGsを考える	蟹江憲史	S1182		26日	9:35-10:35	N	14-5	160	

### 座談会

タイトル	講師	抄録	会場	日時	
トップアスリートから学ぶ未来創り	益子直美 渡辺雅彦 佐藤和毅	S7	1	23日	17:30-18:30

### 理事会提案講演

タイトル	講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032
1 ロボット支援人工膝関節置換術の現状と今後の 課題	二木康夫	S652	2	25日	8:00-9:00	N	14-5	90
ハイブリッド手術室でのロボット支援下脊椎手術	高橋 淳							
2 感染治療における抗菌薬治療の基本	山田浩司	S653			9:15-10:15	N	14-2	104
3 医療安全管理のために知っておくべき医療訴訟 の近況	中島 勸	S663	3	25日	8:00-9:00	N	14-1	96
4 頰椎の痛み	渡辺雅彦	S664				9:15-10:15	N,SS	7
腰椎の痛み	西良浩一							

## 未来創造講演

タイトル		講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032
1	消化器外科領域のロボット手術 —保険収載までの道程と遠隔手術ネットワークへの期待—	須田康一	S1	1	23日	9:15-10:15	N	14-5	9
2	未来医療を実現する近未来の治療室 SCOT	村垣善浩	S647		25日	14:40-15:40	N	14-5	132
3	医療DXによる診断/治療ソリューション開発における政府の支援施策	広瀬大也	S651			17:30-18:30	N	14-5	142
	医療DXを活用した新しい医療への挑戦	勝俣良紀		17:30-18:30	N	14-5	143		
4	AI診断の現状と未来 —放射線科医の立場から—	野崎太希	S662	2	25日	17:30-18:30	N	14-5	143
	AIの利用をめぐる法的責任の考え方	宗像 雄							

## 人生100年時代講演

タイトル		講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032
1	老化のタイミングおよび速度を決定するエピゲノム制御と、その可逆性	早野元詞	S149	12	23日	14:40-15:40	N	14-5	33
2	高齢化社会における社会保障制度	古元重和	S644	1	25日	8:00-9:00	N	14-5	91
3	百寿者、超高齢者に学ぶ健康長寿 —ゲノムから運動習慣まで—	新井康通	S783	11		10:30-11:30	N	14-5	110

## 教育研修講演

タイトル		講師	抄録	会場	日時		単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
1	診療と研究の境界について —医療倫理と保険診療の観点から—	真田昌爾	S1	1	23日	8:00-9:00	N	14-3	6	
2	臨床医がなぜ研究をするのか	岡田誠司	S7	2		8:00-9:00	N	14-5	5	
3	診療ガイドライン第3版を反映した腰椎椎間板ヘルニアの診断、病態、治療	波呂浩孝	S8			9:15-10:15	N,SS	7	10	
4	先天性側弯症	川上紀明				10:30-11:30	N,SS	3, 7	17	
5	成人脊柱変形治療の10年を振り返って —合併症対策と未来に向けて—	松山幸弘	S10	14:40-15:40		N,SS	7	35		
6	医療倫理とトラブルへの対応	宗像 雄	S14	17:30-18:30		N	14-3	44		
7	股関節とその周囲構造の解剖学的解析ならびに骨盤底との関係について	秋田恵一	S14	3		8:00-9:00	N	1, 11	2	
8	手指屈筋腱損傷新鮮例に対する一次修復術と早期自動運動療法	森谷浩治	S15			9:15-10:15	N,Re	10, 13	8	手, リ学
	伸筋腱損傷に対する治療とリハビリテーション	山崎 宏								
9	人工肘関節全置換術の機種選択・手術手技のコツとピットフォール	西田圭一郎	S16	10:30-11:30	N,R	6, 9	16	手, リ財		

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位	
10	アナトミカル型人工肩関節の原理と手術手技	松村 昇	S24	3	23日	17:30-18:30	N,R	6, 9	43	
	リバース型人工肩関節の原理と手術手技	山門浩太郎								
11	サルコペニアと高齢者の慢性疼痛	酒井義人	S62	6		8:00-9:00	N,R	4, 8	3	
12	骨・軟部腫瘍におけるゲノム医療の現状と未来	小林 寛	S80	7		10:30-11:30	N	1, 5	19	
13	骨肉腫の診断と治療 ー過去, 現在, 未来ー	中山ロバート	S98	8		14:40-15:40	N,S	3, 5	34	
14	膝周囲骨切り術の最前線	岡崎 賢	S114	9		15:55-16:55	N	12, 13	39	
15	人工股関節手術を除痛の面から考える ー人工股関節手術はなぜ人工膝関節より除痛が得られるのかー	泉田良一	S122	10		23日	10:30-11:30	N	14-5	13
	筋硬症 ー真実の数々, 殊に静電気・磁気の皮膚受容と発生による筋緊張亢進と痛覚鋭敏化ー	国分正一								
16	骨粗鬆症性椎体骨折に対する治療体系の構築を目指して	中村博亮	S136	11			10:30-11:30	N,SS	4, 7	15
17	TKA機種変遷の歴史 ー成績向上を目指してー	眞島任史	S147	12			8:00-9:00	N,R	12, 13	4
18	骨粗鬆症に対する治療戦略 ー基礎から臨床へー	宮本健史			9:15-10:15		N	1, 4	11	
19	「医療事故」を「医療安全」へ繋ぐために	木村壯介			S148		10:30-11:30	N	14-1	18
20	患者の安全を脅かす“disruptive behavior”	長尾能雅			S149		15:55-16:55	N	14-1	40
21	局所麻酔下・全内視鏡下脊椎手術の現状と未来	西良浩一	S489	1	24日		14:05-15:05	N,SS	7	77
22	ACL再建術 2024	黒田良祐	S496	2			8:20-9:20	N,S	2, 12	48
23	TKA患者満足度向上への課題	松田秀一	S500				11:10-12:10	N,R	12, 13	57
24	人工股関節置換術における合併症発生メカニズムとその対策	加畑多文	S516	3		11:10-12:10	N	11	58	
25	大腿骨頭回転骨切り術の手技と成績	山本卓明	S518			14:05-15:05	N	11	78	
26	軟部肉腫の診断と治療 ー過去, 現在, 未来ー	遠藤 誠	S531	4		11:10-12:10	N	5, 8	59	
27	一次修復困難な広範囲腱板断裂に対する鏡視下腱板筋前進術について ーArthroscopic rotator cuff muscle advancementー	古川龍平	S547	5		24日	14:05-15:05	N,S	2, 9	76
	大腿筋膜グラフトを用いた鏡視下肩上方関節包再建術の手術手技と手術適応	三幡輝久								
28	野球肘 ー検診から最新の治療, 研究までー	佐藤和毅	S572	6			9:35-10:35	N,S	2, 9	50
29	スポーツドクターの役割 ーPlayers centeredの観点によるチーム医療の構築ー	熊井 司	S580	7			15:40-16:40	N,S	2, 13	81
30	大腿骨頭すべり症の診断と治療	柿崎 潤	S587	8	9:35-10:35		N	3, 11	52	
31	成績不良例から学ぶ小児整形外科	西須 孝	S594		15:40-16:40		N	3	84	

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位	
32	足部・足関節のスポーツ外傷と障害の治療戦略	橋本健史	S601	9	24日	9:35-10:35	N,S	2, 12	51	
33	Charcot関節の診断と治療	谷口 晃	S609			15:40-16:40	N,R	8, 12	83	リ財
34	整形外科医に向けた関節リウマチに対する分子標的治療薬の解説	金子祐子	S613	10	24日	8:00-9:00	N,R	6	45	リ財
35	関節リウマチ患者における骨粗鬆症診療の重要性	門野夕峰	S623			15:40-16:40	N,R	4, 6	82	リ財
36	変形性関節症の病態と疼痛メカニズム —アップデート2024—	池内昌彦	S623			16:55-17:55	N,R	1, 12	86	リ財
37	グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症の病態と管理	田中良哉	S624	11	24日	8:00-9:00	N,R	4	46	
38	脊髄損傷のエビデンス	須田浩太	S624			9:35-10:35	N,SS	2, 7	53	
39	整形外科医が知るべき神経変性疾患の鑑別	園生雅弘	S625			11:10-12:10	N	8	60	
40	ACL損傷予防プログラムの実際	津田英一	S630	12	24日	16:55-17:55	N,Re	12, 13	87	リ学
41	足関節部骨折治療のアップデート —脛腓骨 靭帯結合損傷と後果骨折—	原口直樹	S637			11:10-12:10	N	2, 12	56	
42	高齢者頰椎・頸髄損傷に対する診断と初期治療 戦略	伊藤康夫	S642			15:40-16:40	N,SS	7	80	
43	Bio 3D printerを用いた新しい神経導管	池口良輔	S643	12	24日	16:55-17:55	N	8	85	手
		末梢神経の欠損に対する脂肪由来幹細胞の応用								
44	間葉系間質細胞による筋維持機構の解明	上住聡芳	S675	4	25日	8:00-9:00	N	1, 8	93	
45	脊椎疾患に起因する疼痛の評価	紺野慎一				9:15-10:15	N,SS	7	103	
46	肩関節疾患に対するリハビリテーション治療	森原 徹	S704	5	25日	16:15-17:15	N,Re	9, 13	140	リ学
47	上腕骨外側上顆炎の病態と治療	和田卓郎	S719	6	25日	14:40-15:40	N	2, 9	134	手
48	股関節鏡視下手術をはじめのために	宇都宮啓	S724	7	25日	8:00-9:00	N	11	94	
49	外反母趾・扁平足の病態と考え方	生駒和也	S779	11	25日	8:00-9:00	N	12	95	
50	本邦における思春期特発性側弯症手術治療の 変遷	宇野耕吉	S794	12	25日	8:00-9:00	N,SS	3, 7	92	
51	患者の安全を護る医療機関のサイバーセキュリ ティ対策	美代賢吾	S798			10:30-11:30	N	14-1	111	
52	関節軟骨・半月板の再生医療 —現状と未来—	安達伸生	S800			14:40-15:40	N,S	2, 12	133	
53	明日からの診療に活かす臨床倫理	竹下 啓		15:55-16:55	N	14-3	138			
54	臨床現場における倫理的に適切な意思決定プロ セス —日常臨床に潜んでいる倫理的ジレンマに 気づく—	箕岡真子	S1183	1	26日	13:20-14:20	N	14-3	181	
55	膝蓋骨脱臼の診断と治療	出家正隆	S1190	2	26日	13:15-14:15	N,S	2, 12	177	
56	わが国における頰椎変形治療の現況と問題点 —整形外科医の果たす役割, 脊椎外科医の果た す役割—	清水敬親	S1197	3	26日	13:15-14:15	N,SS	7	179	

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位	
57	手外科領域の超音波検査 —病変を見逃さない コツ—	中島祐子	S1204	4	26日	13:15-14:15	N	10	175	手
58	肘関節鏡のテクニックとピットフォール	山本美知郎	S1205	5		8:00-9:00	N	9	151	手
59	整形外科疾患のゲノム解析	池川志郎	S1209			10:30-11:30	N	1	163	
60	半月板損傷に対する機能温存を目指した治療	古賀英之	S1211			13:15-14:15	N,S	2, 12	176	
61	高齢の骨粗鬆症患者治療におけるCKD-MBD (慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常)関与の重 要性	稲葉雅章	S1211	6		8:00-9:00	N	4	150	
62	頸椎症性脊髄症を徹底的に考察する	星地亜都司	S1212			9:15-10:15	N,SS	7	155	
63	分子標的治療薬時代における関節リウマチに対 する集学的治療の方向性 —整形外科医が果た すべき役割と求められるスキル—	桃原茂樹	S1216			13:15-14:15	N,R	6	180	リ財
64	スポーツによる脊椎障害に対する運動療法	金岡恒治	S1220	7		9:15-10:15	N,Re	7, 13	156	リ学
65	CSTの実施における倫理的配慮と将来展望	七戸俊明	S1224			13:15-14:15				
66	CLAPの基本原則 —さまざまな骨関節感染症に おける5Dの使い方—	姫野大輔	S1225	8		8:00-9:00	N	6	149	
	骨折関連感染症に対する有効性と安全性を意識 した持続局所抗菌薬灌流(CLAP)の実際	高原俊介								
67	SPO (spherical periacetabular osteotomy) の着想 から実現化まで	原 俊彦	S1232			13:15-14:15	N	11	178	
68	手関節鏡の基本から応用まで	中村俊康	S1236	9		9:15-10:15	N	10	159	手
69	脂肪由来幹細胞を用いた変形性関節症治療	齋藤 琢	S1236			10:30-11:30	N	1, 12	164	
70	リウマチ足の外科手術の変遷	仁木久照	S1241	10	9:15-10:15	N,R	6, 12	157	リ財	
71	英語論文執筆のすゝめ	堀内圭輔	S1248	12	8:00-9:00	N	14-5	152		
72	もしかすると今まであまり聞いたことのないかもしれ ない医療安全の考え方 —Safety-IIとSafety-I—	長谷川奉延	S1249		9:15-10:15	N	14-1	158		
73	感染症医からみる感染症と感染対策	新庄正宜			10:30-11:30	N	14-2	165		

### 招待講演

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
1	Controversies in the classification and management of spinal trauma	Alexander R. Vaccaro	S63	6	23日	9:15-10:15	N,SS	2,7	7
	Controversies on acute management of cervical spinal cord injury: Lingering debates on early surgery	Hiroataka Chikuda							
2	Evolution of adult spine deformity surgery: Present landscape and emerging horizons	Ferran Pellisé	S68		14:40-15:40	N,SS	7	31	
	Scoliosis surgery in developing countries: Challenges and solutions	Mitsuru Yagi							

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位					
3	Selection of the approach and osteotomies in the treatment of severe spinal deformity	Munish C. Gupta	S69	6	23日	15:55-16:55	N,SS	7	37					
	Surgical strategy for adult spinal deformity: How to prevent complications	Hideyuki Arima												
4	What are the long-term surgical outcomes of compressive endoprosthetic osseointegration of the femur with a minimum 10-year follow-up period?	R. L. Randall	S91	8		23日	8:00-9:00	N,Re	5	1				
	Surgical tips and pitfalls for modular endoprosthesis reconstruction	Satoshi Tsukushi												
5	Long term functional outcome and quality of life after limb salvage of patients with malignant bone tumors	Reinhard Windhager	S102				23日	17:20-18:20	N,Re	5, 13	42			
	Sports activities in pediatric, adolescent, and young adult survivors of bone sarcoma	Shintaro Iwata												
6	Understanding and preventing ACL injuries	Timothy E. Hewett	S109	9				23日	10:30-11:30	N,S	2,12	12		
	Biomechanics of anterior cruciate ligament-deficient and -reconstructed knees: Present & future	Kengo Harato												
7	Current trend in anterior cruciate ligament (ACL) surgery: Still no consensus on the best treatment approach	Stefano Zaffagnini	S115						23日	17:20-18:20	N,S	2,12	41	
	Recent advances, unresolved issues, and the future of ACL reconstruction	Shuji Taketomi												
8	A 10-year FU analysis of contemporary dual-mobility cups	Michel P. Bonnin	S124	10	23日					14:40-15:40	N	11	182	
	An overview of SOFCOT (Société Française de Chirurgie Orthopédique et Traumatologique): History and key innovations including hip surgery	Kazuo Kaneko												
9	Pathogenesis and novel treatment of idiopathic osteonecrosis of the femoral head	Pil Whan Yoon	S125	10		23日				15:55-16:55	N,R	11	38	財
	A novel treatment of idiopathic osteonecrosis of the femoral head	Haruhiko Akiyama												
10	Pathogenesis of adult spinal deformity	Steven D. Glassman	S487	1			24日			11:10-12:10	N,SS	7	54	
	Ethnic difference of surgical treatment for adult spinal deformity	Naobumi Hosogane												
11	Restoring pre-disease alignment in knee arthroplasty: Kinematic alignment in UKA and TKA	Andrew J. Price	S502	2				24日		14:05-15:05	N,R	12,13	73	
	Aiming for improved outcomes in Oxford UKA: Regarding indication and prevention of complications	Takao Kodama												

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位			
12	3D printed modular hemipelvic endoprosthesis reconstruction following periacetabular tumor resection	Wei Guo	S532	4	24日	14:05-15:05	N	5,11	74			
	International trends in the treatment strategy for pelvic sarcomas among countries: What is an optimal limb-salvage surgery?	Tomohiro Fujiwara										
13	Range of motion at 6 weeks is an independent risk factor for failure at 6 months after arthroscopic supraspinatus repair	Philippe Collin	S545	5		25日	11:10-12:10	N,R	9	55		
	Japanese perspective of shoulder arthroplasty	Hiroyuki Sugaya										
14	Innovations in the treatment of wrist pathologies using arthroscopy	Eric Wagner	S557	6			9:35-10:35	N	10	49	手	
	Distal radius fractures: Current treatments and challenges	Satoshi Ichihara										
15	Diagnosis and management of acute, partial and chronic distal biceps tendon injuries	Graham King	S565				6	15:40-16:40	N,R	6,9	79	手, 財
	Recent advances in unlinked total elbow arthroplasty in Japan	Takuji Iwamoto										
16	Guidance from the editor of plastic and reconstructive surgery and hand clinics on scientific manuscripts	Kevin C. Chung	S626				11	14:05-15:05	N	1	75	
	How to conduct a randomized controlled trial in Japan	Sachiyuki Tsukada										
17	Wrist fractures and skeletal fragility	Tamara D. Rozentel	S708	6	8:00-9:00		N	4	89			
	Our effort for osteoporosis treatment at the newly established hospital	Masanori Nakayama										
18	Current understanding of thumb hypoplasia	Soumen Das De	S709		6		9:15-10:15	N	3,10	98	手	
	Current understanding of thumb polydactyly	Takehiko Takagi										
19	Distal nerve transfers in brachial plexus and peripheral nerve injuries	Terrence Jose Jerome Joseph	S720		6	15:55-16:55	N	2,8	137	手		
	Functioning free muscle transfer for reconstruction of brachial plexus injury	Yasunori Hattori										
20	Advantages of weight-bearing CT imaging for earlier and more accurate detection, diagnosis and longitudinal monitoring of knee osteoarthritis features	Neil A. Segal	S740	8	9:15-10:15	N	1,12	97				
	3D limb alignment of knee osteoarthritis	Takeoka Nagura										
21	Current concepts in venous thromboembolism epidemiology, prevention and treatment	Javad Parvizi	S741	8	10:30-11:30	N	14-5	108				
	Prevention and treatment of venous thromboembolism based on the mechanism of thrombus formation	Shinya Goto										

タイトル		講師	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
22	Evolution of hip arthroscopy over the past 25 years	Marc J. Philippon	S752	8	17:30-18:30	N	11	144	
	Current evolving hip arthroscopic management for hip capsule and acetabular dysplasia	Soshi Uchida							
23	Osteochondral lesion of talus: What is the evidence?	Jin Woo Lee	S756	9	9:15-10:15	N	2,12	100	
	State of art of the ankle arthroscopy: Arthroscopic surgery for lateral instability of the ankle	Masato Takao							
24	Is bacteria a possible cause for low back pain	S Rajasekaran	S766		17:30-18:30	N,SS	7	145	
	Treatment strategies for lumbar degenerative diseases	Nobuyuki Fujita							
25	Pediatric spinal deformity: Non radiologic outcomes that matter to patients	Marinus De Kleuver	S770		9:15-10:15	N,SS	3,7	99	
	Challenges in the treatment of adolescent idiopathic scoliosis and navigation in the era of the 100-year lifespan	Kota Watanabe							
26	Adult spinal deformity complications: Development and utility of the ISSG-AO complication score	Eric O. Klineberg	S771		10:30-11:30	N,SS	7	107	
	3-column osteotomy for adult spinal deformity	Yu Yamato							
27	Are adjacent segment pathology and pseudoarthrosis following ACDF the result of karmaic factors or of iatrogenic causes	Chi-Chien Niu	S773	10	13:25-14:25	N,SS	7	124	
	Surgical outcome and complications following ACDF	Masao Koda							
28	Surgical management of cervical ossification of the longitudinal ligament	Yoon Ha	S774		14:40-15:40	N,SS	7	129	
	Pathophysiology of cervical OPLL	Toshitaka Yoshii							
29	Trabecular metal lateral ankle arthroplasty 11 year experience with 550 cases	Lew C. Schon	S778		17:30-18:30	N,R	6,12	146	財
	Advanced techniques to achieve precise orthogonal alignment in lateral transfibular total ankle arthroplasty for severe varus cases	Yuki Tochigi							

## JOA/AAOS combined program: Instructional lecture

タイトル		講師	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032
1	Fixation of periprosthetic distal femur fractures	Paul Tornetta,III	S669	3	25日	13:25-14:25	N	14-5	125
	Surgical considerations in the elderly patient with spinal deformity	Steven D. Glassman							
2	The future direction of decision making in spinal metastasis	Joseph H. Schwab	S670	3	25日	14:40-15:40	N,SS	7	130
	Surgery for cervical spondylotic myelopathy (CSM): Considerations for spinal alignment	John G. Heller							

## JOA/AAOS combined symposium

タイトル		座長	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032
Spine surgery in elderly patient		Eric O. Klineberg 渡辺航太	S671-673	3	25日	15:55-17:25	N,SS	7	139

## KOA special lecture

タイトル		座長	抄録	会場	日時		単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032
1	Selection of high tibial osteotomy	Myung Chul Lee	S674	3	25日	17:30-18:30	N	14-5	147
2	Advantages of PAP surgery in the cervical spine	Kyung-Soo Suk							

Fellow session

タイトル		講師	抄録	会場	日時	
1	Management of ankle fractures in medically complex patients	Kelly K. Hynes	S710	6	25日	10:25-11:45
2	A sports surgeons experience in Afghanistan and beyond	Lucas S. McDonald				
3	Controversies in the management of minimally displaced lateral compression type 1 pelvic ring fractures	Joshua A. Parry	S711			
4	Comparative utilization of laminoplasty in the United States and Japan	Byron F. Stephens				
5	AI driven wearable/interactive technology for quantitative physical assessment	Joseph H. Schwab	S712			
6	Graft length changes and optimal knee flexion angles for fixation in posterolateral corner reconstruction: An <i>in vivo</i> three-dimensional simulation analysis	Kwangho Chung				
7	Is surgical treatment of jones fracture still necessary?: A comparative study assessed with the foot function index-revised short form questionnaire	Jiyoun Kim				
8	Does the difference in deployment configuration of all suture anchors used in arthroscopic Bankart repair affect clinical and radiological outcomes?	Jae-Hoo Lee	S713			
9	The role of intra-articular injection of platelet-rich plasma in patients with knee osteoarthritis: A placebo-controlled randomized controlled trial	Lewis Ping-Keung Chan	S714			

日本整形外科学会奨励賞受賞演題

No.	タイトル	演者	抄録	会場	日時	
1	KLF4およびKLF2は、関節組織において強力な軟骨分化・再生作用と抗変性・炎症作用を有する、変形性関節症の有望な治療標的である	河田 学	S692	5	25日	9:15-10:00
2	機械刺激応答性チャネルPIEZO1は腱を介し身体能力を制御する	中道 亮	S692			
3	高位脛骨骨切り術による下肢アライメント矯正は、マクロファージがM1からM2に変化することに伴い、関節内炎症と症状を改善する	吉田繁央	S693			

## 理事会提案シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	他学会 単位	
1	領域横断的なロコモとフレイル対策	江畑 功, 秋下雅弘	S654-656	2	25日	10:25-11:45	N,Re	13	105	リ学
2	AIが開く整形外科の未来	中村雅也, 秋山治彦	S665-667	3		10:25-11:45	N	14-5	106	
3	JOANR運用5年目の現状と今後の展望	種市洋, 五味潤聡志	S680-682	4		14:40-16:00	N	14-5	135	
4	AMED事業で進む運動器再生医療 —臨床研究と医師主導治験—	黒田良祐, 佐藤正人	S1184-1186	2	26日	8:00-9:20		1	153	
5	リーダーとなる女性整形外科医を育てる	大泉尚美, 山内かづ代	S1187-1189			9:35-10:55	N	14-5	161	
6	骨転移診療を究める	片桐浩久, 河野博隆	S1191-1193	3		8:00-9:20	N	5	154	
7	関節リウマチ診療において整形外科医が 果たす役割 —過去から現在, そして未来へ—	田中 栄, 中島康晴	S1194-1196		9:35-10:55	N,R	6	162	リ財	

## 未来創造シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	
1	整形外科への応用が期待される注目の バイオマテリアル	田中康仁, 山岡哲二	S785-787	11	25日	13:25-14:45	N	1	128
2	整形外科領域における医工連携技術	名倉武雄, 山本美知郎	S788-790			15:00-16:30	N	14-5	136
3	育児とキャリアの両立のために	早川和恵, 高窪祐弥	S791-793			16:45-18:05	N	14-5	141

## シンポジウム

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	
1	災害時の整形外科医における災害支援活動等の現状と課題	新井貞男, 中島康晴	S4-6	1	23日	15:55-17:15			
2	変性疾患の長期成績(10年以上)	川口善治, 猪瀬弘之	S11-13	2		15:55-17:15			
3	上腕骨外側上顆炎の診断と治療の最前線	鈴木克侍, 尼子雅敏	S21-23	3		15:55-17:15			
4	ロコモ・フレイル予防を最大限に引き出す 保存治療法	松井康素, 金岡恒治	S38-40	4		15:55-17:15			
5	超高齢社会における人工関節長期成績向上のためにできること	松原正明, 伊藤 浩	S88-90	7		17:20-18:40			
6	Angiosomeを考慮した下肢手術のアプローチ 手法 —骨折を中心に—	衣笠清人, 小川健一	S144-146	11		17:20-18:40			
7	整形外科と総合診療科との協働 —現状と課題—	田尻康人, 池内昌彦	S150-152	12		17:20-18:40			
8	脊柱変形治療の現状と未来展望 —小児から高齢者まで—	伊東 学, 三澤晶子	S481-483	1	24日	8:00-9:20	N,SS	7	47
9	医師の働き方改革と脊椎外科	中村博亮, 山本修一	S484-486			9:35-10:55			
10	腰椎椎間板ヘルニアの今後の展望	千葉一裕, 藤田順之	S490-492			15:20-16:40			

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単 位 種 別	N必 須 分 野	認定番号 24-0032
11	脊椎インストゥルメンテーション手術支援技術のイノベーション —ナビゲーションとロボット—	種市 洋, 金村徳相	S493-495	1	16:55-18:15			
12	早期変形性膝関節症の病態と治療	内尾祐司, 石島旨章	S497-499	2	9:35-10:55			
13	ロボット支援時代のTKA(PROMsとアライメント)	中川 匠, 二木康夫	S503-505		15:20-16:40			
14	膝関節アライメント再考	佐藤 卓, 原藤健吾	S506-508		16:55-18:15			
15	股関節鏡視下手術の適応と限界	内田宗志, 金治有彦	S509-511		8:00-9:20			
16	エビデンスに基づいた変形性股関節症診療 —ガイドライン第3版—	三谷 茂, 加来信広	S512-515	3	9:35-10:55			
17	大腿骨近位部骨折に対する早期手術と働き方改革	中村琢哉, 野田知之	S519-521		15:20-16:40			
18	寛骨臼形成不全症に対する骨切り術	馬渡正明, 兼氏 歩	S522-524		16:55-18:15			
19	骨・軟部腫瘍診療を取り巻く社会問題	平岡弘二, 森岡秀夫	S525-527	4	8:00-9:20			
20	新しい骨転移診療ガイドラインにおける整形外科の関わりと意義	高木辰哉, 穴澤卯圭	S528-530		9:35-10:55			
21	体幹発生骨・軟部腫瘍に対する局所治療	山本憲男, 秋山 達	S533-535		15:20-16:40			
22	骨・軟部腫瘍に対する低侵襲・ナビゲーション支援治療	松峯昭彦, 川島寛之	S536-538		16:55-18:15			
23	胸郭出口症候群の治療戦略	高松聖仁, 古島弘三	S539-541	5	8:00-9:20			
24	リバーstype人工肩関節の適応と将来展望	池上博泰, 菊川和彦	S542-544		9:35-10:55			
25	上腕骨近位部骨折の治療戦略	橋口 宏, 松村福広	S548-550		15:20-16:40			
26	肩関節外科における手術手技の変遷から検討した推奨する術式	中川照彦, 望月 由	S551-553		16:55-18:15			
27	母指CM関節症に対する最新の知見と将来展望	副島 修, 坂野裕昭	S554-556		8:00-9:20			
28	手肘人工関節置換術の未来を創る	中川夏子, 伊藤 宣	S558-560	6	10:50-12:10			
29	舟状骨偽関節に対する治療戦略	川崎恵吉, 森崎 裕	S562-564		14:05-15:25			
30	肘関節周辺骨折	和田卓郎, 岩部昌平	S566-568		16:55-18:15			
31	成長期のスポーツ障害 —最近の発症予防の知見—	出家正隆, 加藤欽志	S569-571	7	8:00-9:20			
32	健康長寿に向けた, 安心安全なスポーツ競技を行っていただくために —無理をさせない競技指導から外傷予防の基本・いろは—	帖佐悦男, 舟崎裕記	S573-575		10:50-12:10			
33	半月板損傷の治療 up-to-date	中前敦雄, 古賀英之	S577-579		14:05-15:25			
34	再生医療を用いたスポーツ障害に対する最新治療	石橋恭之, 中村憲正	S581-583		16:55-18:15	N,S	2	88

No.	タイトル	座長	抄録	会場	日時	単 位 種 別	N必 須 分 野	認定番号 24-0032
35	少子高齢化社会における小児整形外科の生きる道	稲葉 裕, 青木 清	S584-586	8	24日	8:00-9:20		
36	「整形外科医が知っておくべき小児整形外科疾患の診断Tips」シリーズ第2弾	坂本優子, 金城 健	S588-589			10:50-12:10		
37	小児脊椎疾患の現状と今後	伊東 学, 柳田晴久	S591-593			14:05-15:25		
38	小児上腕骨顆上骨折の治療法	関敦仁, 日高典昭	S595-597			16:55-18:15		
39	足関節果部骨折の最新知見と治療戦略	原口直樹, 寺本篤史	S598-600	9	24日	8:00-9:20		
40	足関節不安定症を考える —変形性足関節症へ進行しないための診断・治療—	熊井 司, 吉村一朗	S602-604			10:50-12:10		
41	これからの扁平足の診断と治療	仁木久照, 生駒和也	S606-608			14:05-15:25		
42	外反母趾治療のアップデート	窪田 誠, 中佐智幸	S610-612			16:55-18:15		
43	リウマチ患者のロコモティブシンドローム対策 —人生100年時代を見据えて—	高木理彰, 松下 功	S614-616	10	24日	9:15-10:35		
44	成長軟骨制御の分子メカニズム	波多賢二, 今井祐記	S617-618			10:50-12:10		
45	骨粗鬆症の最先端研究と最新治療戦略	田中 栄, 福本誠二	S620-622			14:05-15:25		
46	骨髄炎に対する最新治療	渡部欣忍, 土田芳彦	S627-629	11	24日	15:20-16:40		
47	骨折内固定材の留置と抜去に伴う合併症とその対策	岩部昌平, 安樂喜久	S631-633	12		8:00-9:20		
48	現代の四肢再建外科治療	竹中信之, 最上敦彦	S634-636			9:35-10:55		
49	関節鏡を併用した関節内骨折の治療	中村俊康, 徳永真巳	S639-641		24日	14:05-15:25		
50	今後の学術集会のあり方	松山幸弘, 黒田良祐	S648-650	1	25日	15:55-17:15		
51	整形外科における単回使用手術器具再利用の可能性	田尻康人, 神藤佳孝	S659-661	2		15:55-17:15		
52	骨粗鬆症連携と二次骨折予防	酒井昭典, 宮本健史	S701-703	5		14:40-16:00		
53	運動器検診の現状と課題	新井貞男, 森山正敏	S721-723	6		17:10-18:30		
54	感染の診断に難渋した手術部位感染	大川 淳, 稲葉 裕	S728-730	7		14:40-16:00		
55	病理の視座からゴール設定する最新の運動器リハビリテーション治療	西田佳弘, 城戸 颯	S775-777	10		15:55-17:15		
56	外来診療に役立つ超音波ガイド下インターベンションの実際	田中康仁, 渡邊千聡	S801-803	12		17:10-18:30		
57	特発性大腿骨頭壊死症に対する関節温存治療	高平尚伸, 神野哲也	S1179-1181	1	26日	8:00-9:20		
58	ガイドラインから考える変形性膝関節症の診断・治療	津村 弘, 田中 栄	S1198-1200	4		8:00-9:20		
59	交通事故を取り巻く諸問題 —弁護士等の関与について—	藤川謙二, 山下仁司	S1201-1203			9:35-10:55		

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
1	整形外科医が知って得する縫合糸と糸結びのアップデート	馬渡太郎	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	S9	2	23日 12:00-13:10	N	2	20	
	整形外科医が知って得する閉創のコツ —減張縫合からZ形成・局所皮弁まで—	小川 令								
2	変形性膝関節症に対するAPS療法前のスクリーニング —その症状, 本当にOAが原因ですか?—	小倉 誉大	ジンマー・バイオメット 合同会社	S17	3		N	12	21	
	変形性関節症に対するAPS療法との向き合い方を考える —期待と現実の狭間で見る臨床現場の実際—	桑沢綾乃								
3	整形外科医だからできる! 決まった処方でもいいですか? 患者満足度を高めるオーダーメイド治療としての漢方薬	前田浩行	(株)ツムラ	S34	4		N	14-5	26	
4	画像診断技術の進歩による整形外科診療のパラダイムシフト —MRI編—	笹原 潤	キヤノンメディカル システムズ(株)	S53	5		N	1	22	
	画像診断技術の進歩による整形外科診療のパラダイムシフト —超音波編—	岡田洋和								
5	変形性膝関節症の病態に則した治療の現状と課題 —Part 1—	石島旨章	大正製薬(株)	S67	6		N	12	27	
6	血友病性関節症 —整形外科治療と周術期管理—	大野久美子	中外製薬(株)	S81	7		N,R	6	23	リ財
	血友病性関節症に対する診療アプローチ —名古屋大学医学部附属病院の取り組みについて—	寺部健哉								
7	変形性膝関節症に対する脂肪由来幹細胞の関節内投与の治療成績	保田真吾	(株)セルバンク	S98	8		N,R	6, 12	28	リ財
8	変形性膝関節症におけるヒアルロン酸の治療効果と新たな可能性	大槻周平	科研製薬(株)/ 生化学工業(株)	S110	9		N,R	6, 12	29	リ財
9	人工股関節置換術(THA)5000例の経験から —CT based roboticsは術者のスキルを活かす—	青田恵郎	日本ストライカー (株)	S123	10	N	11	24		
	セメントレスTHAブラッシュアップ講座 —ピット フォールとトラブルシューティング—	仁平高太郎								
10	乾癬性関節炎の診療における整形外科医の役割	辻 成佳	アヅヴィ合同会社	S137	11	N,R	6	25	リ財	
	適切な体軸性脊椎関節炎診療を提供するために	門野夕峰								
11	脊椎外科領域における手術の小侵襲化の実際と 未来への展望	齋藤貴徳	ニューベイシブ ジャパン(株)	S148	12	N,SS	7	30		
12	いつもそこにSpAがいる —末梢性脊椎関節炎に 対する診断・治療アプローチ—	藤原稔史	ノバルティス ファーマ(株)	S488	1	N,SS	7	61		
	体軸性脊椎関節炎の診断および鑑別	鈴木望人								
13	本邦におけるCPAK分類と症例個々に対する手術 戦略と実践	中川 匠	日本ストライカー (株)	S501	2	N	12	62		

※共催企業名は予定です

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位									
14	人工関節周術期管理におけるスマホ用治療支援アプリの活用と応用	水野清典	ジンマー・ バイオメット 合同会社	S517	3	24日 12:40-13:50	N	12	63										
	手術支援ロボットと患者アプリで始まる人工膝関節手術デジタルトランスフォーメーション	平中崇文																	
15	神経障害性疼痛に対する薬物選択戦略—単剤療法の意義と有用性—	境 徹也	第一三共(株)	S531	4						N	1,8	65						
16	変形性膝関節症の病態に則した治療の現状と課題 —Part 2—	石島旨章	塩野義製薬(株)	S546	5						N	12	66						
17	変形性関節症に対する体外衝撃波療法とAPS/MSCによる併用療法	中里伸也	日本メディカルネクスト(株)/ (株)カネカ	S561	6						N	11,12	67						
18	ロボット支援前十字靭帯温存TKAの可能性について	二木康夫	スミス・アンド・ ネフュー(株)	S576	7						N	12	68						
19	実臨床において骨折は減っているのか —レセプトデータから骨粗鬆症治療の効果を検証する—	沖本信和	帝人ファーマ(株)/ 帝人ヘルスケア(株)	S590	8						N	2,4	69						
20	変形性膝関節症診療ガイドライン2023におけるアセトアミノフェンの位置づけ	内尾祐司	あゆみ製薬(株)	S605	9						N	12	70						
21	長期的観点からの関節リウマチ治療戦略	高橋伸典	旭化成ファーマ(株)	S619	10						N,R	6	71	リ財					
22	整形外科医による関節リウマチの早期診断と早期治療の極意 —関節エコーの役割とウパダシニブのポテンシャル—	岡野匡志	アツヴィ合同会社	S625	11						N,R	6	72	リ財					
23	変形性膝関節症に対する新しい保存療法	中瀬順介	アバノス・メディカル・ ジャパン・インク/ オーソベンタス(株)	S638	12						25日 12:00-13:10	N,Re	12, 13	64	リ学				
	人工膝関節全置換術後の遷延性術後痛に対する新たな治療戦略としてCoolief冷却高周波療法を用いた治療経験について	壺坂正徳																	
24	人工関節周囲感染と抗菌インプラント開発経緯	土屋弘行	ジンマー バイオメット 合同会社	S646	1	25日 12:00-13:10	N,R	6	112	リ財									
	手術部位感染の予防とその試み —ガイドラインとヨードコーティングインプラント—	白井寿治																	
25	MA, KAそれぞれの手法にみるインプラントデザインとは	道下和彦 中村卓司	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株) デビューションセス事業部	S657	2											N	12	113	
26	骨密度・骨質の正しい理解に基づく長期治療の効果と安全性を再考する	斎藤 充	第一三共(株)	S668	3											N,R	4	116	リ財
27	関節破壊抑制を見据えた若年女性RA患者の薬物治療戦略	原 良太	アステラス製薬(株)/ ユーシービー・ジャパン (株)	S676	4											N,R	6	117	リ財
28	変形性関節症に対する細胞治療の臨床と基礎	齋藤 琢	CPC(株)	S697	5											N,R	1,12	118	リ財
29	変形性膝関節症 —治療ガイドラインに基づく治療とPRP療法の現状—	出家正隆	セルソース(株)	S715	6											N	12	119	
30	変形性膝関節症の病態と各種保存療法	西田佳弘	小野薬品工業(株)/ 生化学工業(株)	S724	7											N,Re	12,13	120	リ学
31	骨脆弱性を考慮したhip spine syndrome対策 —股関節外科医の立場から—	後藤公志	旭化成ファーマ(株)	S742	8											25日 12:00-13:10	N,SS	7,11	114
	Hip-spine syndrome —脊椎外科医の立場から—	八木 満																	

※共催企業名は予定です

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位 種別	N必須 分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
32	脊柱変形・脊椎腫瘍に関する基礎的知識と疼痛治療を含めた最近の話題	出村 諭	日本臓器製薬(株)	S757	9	25日 12:00-13:10	N,SS	7,8	121	
33	腰痛を知り, 分析し, 手当てする —“益”と“害”とのバランスを意識した薬剤選択の重要性—	二階堂琢也	久光製薬(株)	S772	10		N,SS	7,8	122	
34	骨粗鬆症患者の腰椎椎体間固定治療戦略 アバロパラチドを踏まえて	松山幸弘	帝人ナカシマメディカル(株)/ 帝人ファーマ(株)/ 帝人ヘルスケア(株)	S784	11		N,SS	4,7	115	
	成人脊柱変形に対する脊柱再建術 —腰仙椎固定のポイント—	種市 洋								
35	終わりを告げる【整形】外科時代 —神経障害性疼痛に対する超音波ガイド下インターベンション—	皆川洋至	コニカミノルタ ジャパン(株)	S798	12			8	123	
36	最新の骨粗鬆症薬物治療の考え方	宗圓 聡	アムジェン(株)/ アステラス製薬(株)	S1182	1	N,R	4	167	リ財	
37	膝の痛みを解き放て!! —令和時代の関節症治療戦略—	原藤健吾	(株)日本エム・ ディ・エム	S1190	2	N	12	168		
38	一般整形外科医が知っておきたい最新の関節リウマチ治療の動向	蛭名耕介	ヤンセンファーマ(株)/ 田辺三菱製薬(株)	S1197	3	N,R	6	169	リ財	
39	エコーでみてきた膝OAの病態と多血小板血漿 (PRP)の狙い打ち	羽田晋之介	ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株)	S1204	4	N	12	170		
40	骨卒中予防はいつ始めるべきか —疫学データからの考察—	萩野 浩	ユーシービー ジャパン(株)	S1210	5	26日 11:50-13:00	N,Re	4,13	166	リ学
	大腿骨近位部骨折から始まる骨折リエゾンサービスによる地域医療連携	福田文雄								
41	患者の期待に応えられるリウマチ診療を目指して —JAK阻害薬バリシチニブへの期待を含めて—	高橋伸典	日本イーライリリー (株)	S1216	6	N,R	6	171	リ財	
42	腰痛診療の最近の話題	大鳥精司	日本臓器製薬 営業本部企画部	S1224	7	N,SS	7,8	172		
43	基礎研究に基づく骨粗鬆症治療戦略と骨形成促進薬の役割	宮腰尚久	持田製薬(株)/ 科研製薬(株)	S1232	8	N,R	1,4	173	リ財	
44	関節リウマチにおけるMTX の使用法	金子祐子	エーザイ(株)	S1237	9	N,R	6	174	リ財	

※共催企業名は予定です

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	共催	抄録	会場	日時	単位種別	N必須分野	認定番号 24-0032	他学会 単位
1	Results of cementless microplasty with Oxford Partial Knee	Andrew J. Price	ジンマー・バイオメット 合同会社	S54	5	23日 14:40-15:40	N	12	36	
2	人工肩関節置換術の21世紀の進歩とこれから	末永直樹	ジンマー・バイオメット 合同会社	S658	2	25日 14:40-15:40	N,R	6,9	131	リ財
	リバース型人工肩関節置換術 ー難しくない, 良好な術後成績獲得のための手術手技ー	橋口 宏								
3	PRP治療の最前線 ー多様性(ダイバーシティ)を活かした新時代のPRP療法ー	清水勇樹	Arthrex Japan 合同会社	S761	9	25日 14:40-15:40	N	2, 10	148	手
	クリニックでも行える1.9 mmペンシル型関節鏡を用いたリスクの少ない鏡視下手根管開放術	岡田貴充								
4	Augmented Realityを利用した, TKA用次世代 Portable Navigation	小川博之	ジンマー・バイオメット 合同会社	S799	12	25日 13:25-14:25	N	1,12	126	
	スマートフォンを利用した人工膝関節手術のためのARナビゲーション ー手術手技と精度ー	塚田幸行								

※共催企業名は予定です

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N: 日整会専門医単位 S: スポーツ単位 R: リウマチ医単位  
SS: 脊椎脊髄病医単位 Re: 運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
- 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
- 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
- 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
- 5 骨・軟部腫瘍
- 6 リウマチ性疾患, 感染症
- 7 脊椎・脊髄疾患
- 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
- 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
- 11 骨盤・股関節疾患
- 12 膝・足関節・足疾患
- 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
- 14-1 医療安全
- 14-2 感染対策
- 14-3 医療倫理
- 14-4 その他の共通講習
- 14-5 1~13に当てはまらない領域講習

その他学会の単位

手 : 日本手外科学会  
リ財 : 日本リウマチ財団  
リ学 : 日本リハビリテーション医学会

※2月中旬現在, 上記の他学会単位は申請中です。

変更がある場合はホームページ, アプリ, ポケットプログラム等でお知らせいたします。